

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1328

事業名	西淡地区公民館活動交付金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3028			項	社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		目	公民館費・2目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	法的根拠 (法令、条例、要綱等)			
	まちづくりの目標	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	施策目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】 仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		地域住民。	対象人数(人) 11,841
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		公民館活動が地域に根ざし、近くにある公民館が普段着や下駄履きで参加していただける施設として取り組んでいる。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
	各地区公民館の特長を持った運営がなされているので、数字等では表現は難しい。		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
	近くにある公民館が地域住民の交流の場となり、互いに絆を深める場所として提供している。		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (地区公民館)		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から 三原地区公民館と西淡地区公民館の活動事業費について調整を図っているが、まだ、最終的な調整はできていないのが現状である。平成19年度はなんとか調整ができるように努力が必要である。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	地区公民館の講座、サークル数	指標単位 件			
	指標説明 (指標算出方法等)	7地区公民館の主催事業、サークル活動の数を表す。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	31	30	31	31	
	実績値	31	30			
	達成度 (%)	100.0	100.0	-	-	
目標値設定の考え方	活動結果として実施できた講座数、サークル数を目標とする。					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	地区公民館利用者数	指標単位 人			
	指標説明 (指標算出方法等)	7地区公民館利用者数を表す。				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	
	実績値	77,445	81,211			
	達成度 (%)	96.8	101.5	-	-	
目標値設定の考え方	合併後の平成17年度の目標値を5年間の目標値とする。					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	1,260	1,260	1,260	1,260	
	地区公民館活動交付金	1,260	1,260	1,260	1,260	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	1,260	1,260	1,260	1,260	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	1,260	1,260	1,260	1,260		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.1	0.1	0.1	0.1		
受益者人数(81,211)1人当り経費(千円)	0.0	0.0	0.0	0.0		
経費に関する補足説明	各地区公民館において活動する経費として1館18万円を交付する。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		%	100.0	100.0	-	-		
<p>(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>すべての館が活発に活動しているとは言えない。また、施設の不備な館もあり評価は難しい。</p>							3	
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		自己評価 (5点評価)
		%	96.8	101.5	-	-		
	成果向上率	%	-	4.9	-	-		
	<p>(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>やはり、ある程度の予算があり活動することができれば良いと思うが、1館18万円の活動交付金で活発な活動はいかんせん難しい。</p>							
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		千円	40.6	42.0	-	-		
	効率性増減率	%	-	3.3	-	-		
	<p>(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>施設がの効率性が低い。特に旧小学校については地区公民館としては大きすぎて、維持管理が地区館では重荷になっており、効率は悪い。</p>							
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				自己評価 (5点評価)
	<p>(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>下駄履きで参加できる公民館としては、地区住民にとって、必要な施設である。</p>							
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<p>地区公民館のなかで、津井公民館は拠点となる施設が産業文化センターである。活動としては、センターと西淡グラウンドを利用して行っているが、利用者には大変不便で使い辛い施設である。また、旧丸山小学校、旧阿那賀小学校、旧伊加利小学校は一つの小学校が地区公民館となったので、管理に苦慮している。もう少し地区公民館がコンパクトに管理・運営できれば、活発な活動ができるのではないかと思う。</p>					<p>評価グラフ</p>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	丸山、阿那賀、伊加利公民館は旧小学校施設を利用しているが、公民館として利用するには施設が大きすぎる。 管理運営には若干時間をかけて検討が必要であるが、サークル活動等については現状の活動を当分は継続し、地域住民の交流の場所となり得る。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 学校がなくなり、ふれあいの場が少なくなりつつある丸山、阿那賀、伊加利においては、統廃合、廃止をすとなれば、大変遠い場所まで出向き公民館活動をしなければならなくなり、高齢者は特に参加は難しくなる。	